

高千穂大学 2026 年度一般選抜

「出題の意図」

入試区分	一般選抜（ベスト 2 教科）、一般選抜（英語・国語Ⅰ期）、 一般選抜（英語・国語Ⅱ期）、一般選抜（英国数セレクト 1 教科） 共通
教科	外国語
科目・出題範囲	『英語』英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅰ
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習アドバイス など	長文問題、文法・語法問題、会話問題、総合問題の出題意図と攻略 本学では外国語試験（英語）にマークシート方式が導入されています。 ※記述式問題は一部の入試区分（2026 年度入試では「英国数セレクト 1 教科」）のみ英問英答という形式で出題されています。 第 1 問が長文問題、第 2 問が文法問題、第 3 問が語法問題、第 4 問が会話問題、第 5 問が総合問題となっています。語彙レベルは高校生として身につけておくべき基本的なものが中心です。 長文問題は、題材として英字新聞からの時事問題を取り扱い、英文全体と段落ごとの内容を正確に理解する能力が必要とされます。日頃から英字新聞に目を通すことなどをお勧めします。わからない単語に関しては辞書を引きながら確認していきましょう。長文問題は空所補充問題と内容合致問題で構成されています。 文法問題と語法問題は、高校の教科書で学ぶ基本的事項を確認することを目指しています。一般的な文法知識をマスターしておくことが基本です。語法問題は特に同義語選択がでますので、語彙力の増強に努めていただくことが肝要です。会話問題はフランクな話し言葉の表現にも慣れておくことをお勧めします。 最後の総合問題は、図表からメッセージを読み取り、問題に対して解答していきます。ただ、図表を読み解くだけでなく、さらに思考する力を試したものですので、日頃からの学習を重ねておいていただきたいものです。

入試区分	一般選抜（ベスト 2 教科）、一般選抜（英語・国語 I 期）
教科	国語
科目・出題範囲	『国語』現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	評論読解問題（二題）、文学史問題、語句・文法問題 本学の国語試験はマークシート方式によって出題されます。問題は大きく三つの大問から構成されており、現代文の読解力、語句理解、文学史の基礎知識、文章全体の把握力など、高校までに身につけておくべき国語の基本的能力を総合的に確認することを目的としています。 第 1 問は評論文読解問題であり、文章の論旨を理解しながら、語句の意味や接続関係、空欄補充などを判断する問題を出題しています。文章の構造を把握し、段落ごとの内容を整理して読む力が求められます。 第 2 問は文学史に関する知識問題です。近代文学を中心に、作家の作品や文学史的特徴などについて基礎的な理解が問われます。高校の教科書に掲載されている基本的な内容理解の確認となります。 第 3 問は評論文読解問題であり、語句の意味や文章全体の趣旨を踏まえた内容理解を問う問題が中心となります。また、文章の具体例と主張の関係を読み取る力とともに、全体の流れを把握して判断する力も試されます。 学習のアドバイスですが、評論文の読解では、文章の主張や論理関係を理解することが重要です。接続語や段落構成に注目しながら読み進めることで、筆者の考えを整理して理解することができます。日頃からテレビや新聞、インターネットの記事などに触れ、文章の論理展開を意識する習慣を身につけておくといよいでしょう。また、語句の意味や言い換えを問う問題に対応するためには、語彙力を養うことが大切です。文章を読む際には分からない語句を辞書で確認・メモをするなどして、語彙を着実に増やしていくことをお勧めします。文学史問題については、高校の教科書に掲載されている代表的な作家や作品、文学史上の位置づけを整理しておくことが有効です。年表などを用いて時代の流れとともに理解しておく、知識を体系的に整理することができます。

入試区分	一般選抜（英語・国語Ⅱ期）
教科	国語
科目・出題範囲	『国語』現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	評論読解問題（二題）、文学史問題、語句・文法問題 本学の国語試験はマークシート方式によって出題されます。問題は大きく三つの大問から構成されており、現代文の読解力、語句理解、文学史の基礎知識、文章全体の把握力など、高校までに身につけておくべき国語の基本的能力を総合的に確認することを目的としています。 第 1 問は評論文読解問題です。文章の主張や論理展開を理解しながら、語句の意味、接続語の働き、空欄補充などを判断する問題が出題されます。文章全体の流れと段落ごとの内容を正確に把握する読解力が求められます。 第 2 問は文学史に関する知識問題です。近代文学を中心に、作家や作品、文学史的特徴などの基礎的事項を確認することを目的としています。高校の教科書に掲載されている基本的な内容理解の確認となります。 第 3 問は評論文読解問題で、語句の意味や文章全体の内容を踏まえた理解を問うものです。本文の一部分だけでなく、文章全体の趣旨や具体例の意味を総合的に判断する力も試されます。 学習アドバイスですが、評論文の読解では、文章の主張や論理関係を理解することが重要です。接続語や段落構成に注目しながら読み進めることで、筆者の考えを整理して把握することができます。日頃からテレビや新聞、インターネットの記事などに触れ、文章の論理構造を意識して読む習慣を身につけておくことをお勧めします。また、語句の意味や言い換えを問う問題に対応するためには、語彙力を高める必要があります。文章を読む際には、分からない語句を辞書で調べながら確認・メモをするなどして、語彙力を着実に伸ばしましょう。文学史問題については、高校の教科書に掲載されている代表的な作家や作品を中心に整理しておくことが有効です。作家の活動時期や文学史上の位置づけを年表などで確認し、体系的に理解しておくといよいでしょう。

入試区分	一般選抜（英数国セレクト1教科）
教科	国語
科目・出題範囲	『国語』現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）
得点	100点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	評論読解問題（二題）、文学史問題、語句・文法問題 本学の国語試験はマークシート方式によって出題されます。問題は大きく三つの大問から構成されており、現代文の読解力、語句理解、文学史の基礎知識、文章全体の把握力など、高校までに身につけておくべき国語の基本的能力を総合的に確認することを目的としています。 第1問は評論文読解問題です。新聞や報道、知識の生成過程に関する文章を題材とし、語句の意味や接続関係、空欄補充などを問う問題が出題されています。文章の論理構造を把握し、筆者の主張を正確に読み取る力が求められます。 第2問は文学史に関する知識問題です。古典文学を含む作家や作品、文学的特徴についての基礎的理解が問われます。教科書レベルの基本事項を中心に、作品の内容や位置づけを整理しておくことが重要です。 第3問は評論文読解問題であり、語句の意味や文章全体の趣旨を踏まえた内容理解を問う問題が中心となります。具体例と筆者の主張との関係を整理しながら読む力も必要となります。 学習アドバイスですが、評論文の読解では、文章の主張や論理関係を理解することが重要です。接続語や段落構成に注目しながら読み進めることで、筆者の考えを整理して把握することができます。日頃からテレビや新聞、インターネットの記事などに触れ、文章の論理構造を意識して読む習慣を身につけておくことをお勧めします。また、語句の意味や言い換えを問う問題に対応するためには、語彙力を高めることが必須です。文章を読む際には、分からない語句を辞書で調べながら確認・メモをするなどして、語彙力を着実に伸ばしましょう。文学史問題については、高校の教科書に掲載されている代表的な作家や作品を中心に整理しておくことが有効です。作家の活動時期や文学史上の位置づけを年表などで確認し、体系的に理解しておくとい良いでしょう。

入試区分	一般選抜（ベスト 2 教科）
教科	選択
科目・出題範囲	『歴史総合、日本史探究』
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	高校の教科書に記載されている事項にもとづいて、日本史に関する基礎的な理解を問うことを意図して出題しています。時代としては原始・古代から近代・現代まで、テーマとしては政治・経済・社会・文化など、幅広い範囲について出題されます。教科書の内容をかたよりなく、しっかりと学習しておくことが求められます。

入試区分	一般選抜（ベスト 2 教科）
教科	選択
科目・出題範囲	『歴史総合、世界史探究』
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	【問題構成】 1. アジア諸地域の国家と社会 2. ヨーロッパ世界の形成とイスラーム教の誕生 3. 交易の進展と東アジア・東南アジア 4. ヨーロッパ世界の成長と世界の一体化 5. 新国家の建設と世界市場の形成 【出題の意図】 古代から近代にかけての、アジア、ヨーロッパ、アメリカなど世界各地の政治・経済・社会の成立と展開と相互の関係・交流を問う問題になっています。それぞれの地域における政治や経済・社会の発展の特徴と、それらの地域相互の交流のありかた、またそうした交流がそれぞれの地域の歴史の発展にどのような影響を与えたのかを理解していることが求められます。 【学習のアドバイス】 各地域の政治・経済・社会の成立と展開についてしっかりと学び、よく理解しておくことが大切です。また、個々の地域の歴史だけでなく、それらの地域の交流や相互関係を広い視野でとらえておくことも必要です。地域史にせよ地域間の関係史にせよ、基本的な事項を確実におさえて起きましょう。

入試区分	一般選抜（ベスト 2 教科）
教科	選択
科目・出題範囲	『政治、経済』
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	選択式問題、長文読解問題 本学では政治・経済にマークシート方式が導入されています。 第 1 問は日本の法律にかんする問題で、問われている知識や読解力は高校生として身につけておくべき基本的なものです。 第 2 問は広く日本国内と海外の国内政治に関する問題、また第 3 問は国際関係にかんする問題で、教科書レベルにくわえて、日頃から新聞等に目を通すことなどをお薦めします。分からない用語は用語集などを引きながら確認していきましょう。最後の第 3 問は、時事問題にかんする長文を読解し、日頃からの学習を重ねていただきたいです。 経済は大問が 3 問あります。出題内容は高校生として身に付けておくべき基本的なものが中心です。 第 5 問は経済学の問題です。専門用語やグラフを読み取る能力が必要とされます。教科書を理解することに加えて、日ごろから報道を見ていると良いでしょう。 第 6 問は国際経済に関する問題です。今年度は国際収支統計を用いた問題を出題しました。基本的な用語の理解と数値の読み取り、数値の解釈が必要とされます。 第 7 問は日本の産業と企業に関する問題です。日本の産業と企業の特徴、時代による変化、専門用語の知識が必要とされます。いずれも教科書に記載されている内容です。 3 つの大問を通して、専門用語や背景を理解することにとどまらず、図表を読み解くこと、現状の経済を理解すること、数値を読み取ることも必要とされるため、日ごろから経済に興味を持ち、報道を見て、自分で考える学習していただきたいです。 なお、本年度の出題は第 5 問を経済、第 6 問を国際経済、第 7 問を日本の産業と企業に関する問題としましたが、大問の出題範囲は年度により異なることがあります。また、高校の政治・経済の学習内容全体から出題するため、本年度は出題されていない範囲が翌年度以降に出題されることがあります。出題範囲にこだわることなく、勉強を進めていただきたいです。

入試区分	一般選抜（ベスト 2 教科）、一般選抜（英国数セレクト 1 教科） 共通
教科	選択
科目・出題範囲	『数学 I ・数学 A』
得点	100 点
問題構成 出題の意図 学習のアドバイス など	本学で課す数学に関する筆記試験は、高等学校の「数学 I 」及び「数学 A」を範囲としています。具体的には、「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」、「データの分析」、「図形の性質」、「場合の数と確率」、「数学と人間の活動」の中から出題しています。 問題は 4 つの大問で構成されています。この 4 つの大問は、上記の分野ごとの出題に限定されませんが、大きくは以下のように区分しています。 第 1 問 数と式、整数の性質に関わる問題 第 2 問 二次関数に関わる問題 第 3 問 図形に関わる問題 第 4 問 確率や統計に関わる問題 第 1 問では、実数の理解を問う計算問題を中心に出一道しています。第 2 問では、経済学、データサイエンスなど大学の講義を理解する上で必要な二次関数について出一道しています。第 3 問では、図形の性質及び計量の理解を問う問題を出題しています。第 4 問では、エビデンスデータに基づく判断に必要な確率や統計の基礎知識について出一道しています。 このように、全体として、分野に偏りが生じないように出一道していますので、「数学 I 」及び「数学 A」を満遍なく学習することを期待しています。また、教科書の基本的な問題や標準的な問題が中心となっていますので、基礎的な事項の理解やその知識の運用力を身に付けることも期待しています。